

Ken's Trio Plus SUMMER TOUR 2025



2025 7/21 (月祝)

Open 14:00 Live 1st 15:00 2nd 16:30
Charge 4,700円(税込5,170円)
3,000円(学割税込)



渋谷公園通り BODY & SOUL

東京都渋谷区宇田川町2-1 渋谷ホームズB-15
TEL 03-6455-0088

※お電話かHP予約ページよりご予約をお願い致します。



BIOGRAPHY

Ken's Trio Plus

2005年、ベーシスト金子健をリーダーに結成された“Ken's Trio”は、1st CD 『I Like It!』 Ken's Trio +1 (WNR) をリリース。以降、6枚のアルバムを発表し、全国ツアーやジャズ・フェスティバルなどで好評を得る。ジャズ・スタンダードを中心に、様々な楽曲を独自のアレンジで演奏。Groovyかつ繊細なサウンドで、聴く人を魅了している。

最新アルバム『Insights Field』 Ken's Trio Plus (BFR) は、2023年12月にリリース。



アルバム“Insights Field”
こちらのからご視聴ください→

金子 健 Ken Kaneko (Bass)

1964年、東京生まれ。

国立音楽大学卒業後演奏活動をはじめ、同時に高校の音楽講師も6年間つとめる。

1993年、岡安芳明(g)『Midnight Groove』(キングレコード)に参加後、山本剛(p)、大隅寿男(ds)、阿川泰子(vo)等、多くのミュージシャンと共演。参加したアルバムも多数。2005年には、自己のリーダー作『I Like It!』 Ken's Trio+1(WNR)を、つづく2006年には2nd CD『The Chant』 Ken's Trio(WNR) 発表。2009年8月に3rdアルバム『Tripression』 Ken's Trio(WNR) をリリース。また、2007年以降は山下洋輔(p)Special Big Band、寺井尚子(vln)カルテット、矢野沙織(as)カルテット等のツアーやレコーディングにも参加している。2010年5月には、ベニー・グリーン(p)、井上智(g)とのリーダーユニット「KBS TRIO」のアルバム『What Am I Here For』も発売され、スイングジャーナル誌「ゴールドディスク」を受賞。2012年にはKBS Trio 2nd CD『RESONANCE』、2015年3rd CD『Delight』も発売された。最新リーダーアルバムは2023年12月発売、『Insights Filed』 Ken's Trio Plus (BFR)。

演奏活動とともに、2006年から国立音楽大学講師も務め 後進の指導にもあたっている。

金子 礼 Ray Kaneko (Alto Sax)

2001年3月11日東京都生まれ。

東京都立総合芸術高校にてクラシック・サクソフォンを学ぶ。在学中に2017年第13回くらしき国際サクソフーンコンクール ソロ部門 高校生の部 第1位、翌年、2018年第20回日本ジュニア管打楽器コンクール ソロ部門にて銀賞を受賞。

ジャズ・サククスではSEIKO SUMMER JAZZ CAMP 2016にて“BEST IMPROVED STUDENT 優秀賞”を得て、2020年11月 第1回品川区アマチュアジャズコンテストに自己のトリオで出場、バンド部門で優勝し、ベストプレイヤー賞も受賞する。国立音楽大学ジャズ専修から、2022年米国 TEMPLE UNIVERSITY JAZZ STUDIES PERFORMANCE MAJOR へ入学。DICK OATTS, TIM GREEN TIM WARFIELD, TERRELL STAFFORD 等に師事。2024年THE BILLY STRAYHORN JAZZ EDUCATION SCHOLARSHIP AWARDをBILLY STRAYHORN財団より受賞。

2025年、全米“VANDOREN EMERGING ARTIST COMPETITION”にて HONORABLE MENTION JAZZを受賞。

現在はCHRIS'S JAZZ CAFE, SMALLSなどに出演しNEW YORK、PHILADELPHIA を中心に活動中。

井口 大夢 Daimu Iguchi (Piano)

栃木県宇都宮市出身 22歳

4歳よりエレクトーンを始める。高校よりピアノを始める。

大分県情報サービス産業協会主催コンピュータミュージック「サウンズコンテスト」第24回と第27回において、最年少での第3位受賞。ジャズ喫茶ちぐさ主催、第9回ちぐさ賞において、瀬川昌久記念賞受賞。

またSEIKO SUMMER JAZZ CAMP 2022に参加し、ニューヨークの第一線で活躍するプレイヤーに指導を受け、東京ジャズ2022に出演。現在は大学に通いながら栃木県のみならず関東を中心に演奏活動に励んでいる。

エレクトーンを中島望、倉沢大樹。ジャズピアノを熊谷ヤスマサ各氏に師事。

山崎 隼 Hayato Yamazaki (Drums)

2001年愛知県生まれ デキシードジャズバンドでトランペットを吹く父、ドラムを叩く母の影響で3歳からドラムを叩き始める。9歳でライブ活動を開始。中学校在学時はラテン音楽/ブラジル音楽に没頭。またフュージョンギタリスト

「倉谷明」氏の紹介で様々なジャズ、フュージョンミュージシャンとの共演も重ねる。2018年尚美ミュージックカレッジ主催の「高校生ソロプレイヤーズコンテスト2018」にて最優秀賞を受賞。高校在学中より頭角を現し、第一線のミュージシャンと共演するなど、活動の幅を広げている。2020年に高校を卒業し、プロとしての活動をスタートする。2021年には活動の拠点を東京へ移し、ジャズ、ポップス、フュージョン、ラテン、ブラジリアンなどジャンルを問わずセッションドラマー/スタジオミュージシャン/パーカショニストとして活動。YAMAHA(Drum),Meinl(Stick)エンドーサー。